

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-12))」
2. 日時：令和5年2月2日(木) 10時00分～12時05分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
古作企画調査官、大橋上席安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員
日本原燃株式会社
再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震) 他10名
中部電力株式会社
原子燃料サイクル部 サイクル戦略G 課長
九州電力株式会社
原子燃料サイクルG グループ長 他1名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年

12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 令和5年1月5日

「日本原燃(株) 再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年1月17日

「日本原燃(株) 再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年1月31日

「日本原燃(株) 再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	ではヒアリングを開始します。はい。
0:00:04	それでは改めまして、本日は、令和4年12月26日に申請のあった、再処理施設工認申請に係るヒアリングを行います。
0:00:16	まずヒアリング先立ちまして出席者の紹介をいたします。規制庁側ですが、本庁会議室から古作調査官オオハシフジワラシミズタカナシ、ウェブから、
0:00:29	ちょっと、
0:00:31	WEBからオオオカカミデハバサキタジリですね。
0:00:36	はい。
0:00:38	大丈夫です。以上になります。日本原燃側出席者と、出席者の紹介と役割分担の紹介をお願いいたします。
0:00:48	農業メنز魅力の中浜でございます。
0:00:52	山側の出席者を紹介いたします。
0:00:55	とりあえず分類、連携本部関係で、いろいろ呼び名中、
0:01:01	不休重大事故関係で、いわゆる水口木内。
0:01:08	仲西。
0:01:09	徳丸さん。
0:01:12	池フジノ中浜となります。
0:01:16	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、
0:01:20	結果の協議させていただいてございます重大事故関係。
0:01:24	十時の16、17。
0:01:28	十時0000150001でございます。
0:01:34	まずグループですね、昨日いただきました累計分類からもですね、のご説明をさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。
0:01:44	規制庁の藤原です。まずヒアリングメニューなんですけど、十時16ってするんですけど。
0:01:55	はい。日本原燃の瀬川です。十時16は、特段の説明をする内容がございませんので、
0:02:03	案件からちょっと削除させていただきたいと思います。以上です。市長の藤原です。説明があるかどうかというか、今回、話をする内容に入ってたかどうかだと思いますので、

0:02:15	また今後そこは調整していきたいと思います。今日のヒアリングでは取り扱わないということで理解しました。
0:02:21	それでは説明累計の方ですかね、ご説明をしていただけたらと思います。よろしくお願いします。
0:02:28	日本原燃の蝦名です。まずはちょっと資料が提出できておらず、申し訳ございません。
0:02:36	それでいいながらもこちらの考え方をですねちょっと月法廷してご説明さしていただいて、本日資料の修正版というのを提出することで、
0:02:49	明日につなげていくということで考えてございますんでちょっとこちらの方から進めさせていただきます。
0:02:56	はい。基本0の田仲です。こちらの私の方から作業の進捗ということ。
0:03:02	考え方ということで、昨日いただきましたコメント等を踏まえまして、整理している状況としまして、まず一つが入口のところでありました。
0:03:13	施設共通基本設計方針の具現化というところがありましたのでそちらの方の作業としてはですね、
0:03:21	この施設共通基本設計方針の全体等としては、
0:03:26	共通08で、施設共通基本設計方針を細分化しているリストがございます。そのリスクの方と、
0:03:35	レベルで関連づけられてるものについては、何がしか設備リストと関連づけてカウントするとそういう方向で、精査をしておるとというのが、状況でございます。
0:03:48	そのような考え方をですね、資料の方に落とし込んで、今日提出資料の方を整理していたような状況です。
0:03:57	あと、新設の分類の方につきましては、
0:04:01	最後抽出された新設すみませんっていうところがですね。
0:04:05	コサクです。ごめんなさい。資料がなくての話なので一つ一つちょっと話をさせてもらえればと思うんですけど。
0:04:13	今の施設共通基本設計方針、
0:04:18	まとめられているもののす。
0:04:22	設備等の繋がりチェックってということなんですけど、やられてることは昨日話した古藤とそごはないような気はするんですけど。
0:04:33	作業状況として何か悩みとかは出てますか。
0:04:38	はい。今の悩みとしましては、

0:04:43	施設共通基本設計方針の方で説明しますと言ってるものが、設備リストとか明確に関連づけられ、
0:04:49	得るものというものなんですけども、そうじゃないものというのもちょうと出てきた場合は、ちょっと並んだりもするところがあるんですけども、
0:04:58	本音の瀬川でちょっと具体例を挙げて、悩みを共有させていただきたいんですけれども、今ねじり避難通路という話が出てました。避難通路ってのは建屋に紐づけて整理できるよねと。
0:05:11	いうところまではもう私たちも、そうさそうだと。
0:05:14	よったんですけれども、実際申請対象設備リストを渡していくとですね。
0:05:20	使用表としてその紙を示すべき建物じゃない建物も、
0:05:26	一部いまして、
0:05:28	だけどころには避難通路があるといったところで、避難通路ってどういうふうに紐づけようといったところが悩みとして出てきている部分。
0:05:37	あと他にもですね、
0:05:41	波及影響は波及影響みたいなですねこれ以前どっかでご指摘ありましたが、事務建屋みたいなものは、これ申請対象設備リストにいないですね。
0:05:54	ただ一方で、波及域を見る設備として事務建屋っていうのが出てくるので、こういうものをどうやって紐づけるんだといったときに、
0:06:02	被害者側になる設備に、その加害者側になる事務建屋っていうのを紐づけて整理していこうかなんていうようなところもちょうと試行したんですけれども、
0:06:14	またもう一つわずらわしいのがですね、昨日、石原の方からもありましたけど、
0:06:21	一方で波及影響を与える側の設備で、申請対象設備リストに登場してきちゃってる設備もいるんですね。それはカウントするのに、事務建屋側は何か買う、被害者側に紐付けてなんていう整理をすると、ちょっとこのそごが出てくるなど、そういったところをちょっとどういう話していこうかといったところは、
0:06:40	今、ちょっと非常に悩んでいるところです。
0:06:43	以上です。

0:06:49	規制庁コサクです。
0:06:52	今の例示二つは非常にはカー悩みとしてわかる場所ですけど、
0:07:00	どうしていこうかなあということかというと、
0:07:07	そもそも、今回その作業している趣旨って何かなっていることに、また立ち返らなきゃいけないと思うんですけど。
0:07:16	申請対象設備、
0:07:22	の規模、
0:07:25	としてお話をしている、それに対して説明をしなければいけないことっていうのの分類で話をしているという関係からすると、
0:07:41	そこはその何ていうんすかね課題として挙げる必要のない項目のようにも思うんです。
0:07:47	一方で、
0:07:49	そのあとの説明を、
0:07:53	漏れなくやると。
0:07:55	いう観点からは、場合によると必要になってくると。
0:07:58	ということだと理解をしました。
0:08:05	ここまでいいですか。
0:08:09	はい、日本の臼田です。はい。駒田大丈夫です。
0:08:13	古作です。
0:08:19	す。
0:08:21	後段の説明どうしたらいいかと、漏れなくやるためにどうしたらいいかということかというと、
0:08:27	2点目の話にもなるんですけど、波及影響、
0:08:34	対し、波及影響として考慮するもの。
0:08:39	について申請対象外の
0:08:41	と。
0:08:42	ものについてどうしていくかということが、メインかなと。
0:08:47	ということ等で、
0:08:50	それー。
0:08:54	もうちょっと論点と二つあるかな。二つというか、概念として分けたいかなと思うのは、
0:09:03	防護対象の
0:09:05	ものを、

0:09:06	に対して、
0:09:07	申請対象設備が波及影響を及ぼす。
0:09:12	ことがあって説明をする。
0:09:14	言葉、
0:09:15	それにふぞ、
0:09:18	累計として同様の申請対象外のものがあると。
0:09:22	いう場合には、
0:09:24	その申請対象の説明に包含するのかもしれないかと。
0:09:31	ということで一つ、話が整理できるのかなと。
0:09:37	思いました。で、交換できないって言った場合、或いは申請対象での波及影響というのではないと。
0:09:46	いうところでの申請対象外での波及影響を考えなきゃいけない。
0:09:51	事故、
0:09:52	ということについて、どう説明していきますかと。
0:09:56	ということかと思うんですけど。
0:09:59	いかがでしょうか。
0:10:07	すいません。ちょっと今の点は、しっかり現物を見ながら、
0:10:15	多く、
0:10:16	そう整理できるかどうかのをちょっと精査しなきゃいけないんですがちょっと1点確認なんですけど
0:10:21	たくさん今おっしゃられたその包含っていうのは、どういった、
0:10:26	実習時間をちょっと正確に理解しておきたかったんですが、
0:10:29	古作ですけど、そもそも今回累計をするというって、
0:10:34	その累計の中で代表性をもって説明をするということで、全体が説明できるようにしますと言っていたことそのものなんですけど、
0:10:46	今年度4月理解しました。
0:10:51	確かにそういう網の中に入れてしまうっていうのは、一定の合理性がありますし、
0:10:58	本当にその網にかぶせてカバーできるかっていうのすみませんまだ、そういった観点でちょっと見てなかったところもあるので、
0:11:07	ちょっと精算をさせていただきたいと思います。
0:11:12	はい。補足です。
0:11:14	まだ精査できてないっていうと申請できてない。

0:11:18	はずなのですが、今更言ってもしょうがないので整理をしてということだと思います。で、それで言うと、
0:11:29	結局は今のカウントの話で言えば、申請対象外のものをどういふかは、対象とりあえず置いといて、
0:11:38	整理を進めて、対象外のものっていうのを追って説明しなきゃと思っているものが、
0:11:45	もうすでにあるようですから、それについては今言った類型を整理を、その条文ごとの類型の中の整理の中で、
0:11:54	話をしていって、
0:11:58	申請対象の説明以外にこれも説明した方がいいと思いますと。
0:12:03	というようなことを話をさせていただいたらいいのかなと思いますけど作業プロセスとしてはその理解で大丈夫ですか。
0:12:12	はい。日本原燃の瀬川さんは、理解しました。大丈夫です。
0:12:17	はい。補足です。
0:12:18	で、ここまでで原燃として、もう少しクリアにした方が作業がしやすいなとかっていうのがあれば言って欲しいんですけど、何か何かありますか。
0:12:32	はい。原野玉田です。今のお話を伺って、作業のプロセスとしては、大分明確になったので進められると思います。
0:12:42	はい。コサクです。次の項目の説明をお願いします。
0:12:47	はい。続きまして分類Aのところの新規のところなんですけども、こちらの方は期の仕方については設備リストの新設というところでは変わりはないんですけども、出てきたものの設備については、
0:13:01	次のステップにつなげるということで、今条文ごとに各設備を整理してし示しするような形で今、資料の方修正しているような状況でございます。
0:13:14	すみません、課題はないということでいいですか。はい。こちらの方は淡々と進めておる状況でございます。
0:13:28	はい。あ、あ、どうぞ。
0:13:31	すみません。田仲ですそれで累計B施設の方なんですけども、こちらの方につきましても、奥の方につき、
0:13:41	昨日ご説明しました通り、このB T Bについては条文単位で一般
0:13:49	あまり納めてそこから、例外的に

0:13:52	設計が変わってないものとかですね追加がなかったものというBLを落としていくというそのプロセスというところは、考えとしてこちら、変わっておらず、ただ、その他事項というところが、
0:14:03	その保育の考え方、
0:14:06	外れてくるものというのが、
0:14:08	あるかなという思っておりますので、そちらの方を、共通0に示しております。そういうその他事項のものについては、どういうふうに評価するかっていうのを1件以上で、
0:14:19	個別に評価している状況でございます。
0:14:24	伊勢。
0:14:26	状況は、今申し上げた通りでございます。
0:14:31	コサクですちょっとよくわかんなかったんですけど、
0:14:35	べし、B1からB4の分類の考え方、大分機能、
0:14:44	議論したと思うんですけど、
0:14:47	その考えは、整理されていると。
0:14:53	ということですかね。
0:14:57	はい。日本原燃田仲です。
0:14:59	昨日
0:15:01	見させていただいた資料の考え方というところでまとめて大方針って言うんすかねブログの基本的な考え方については、
0:15:11	すいません、ここだけです。田仲さん申し訳ないけど、
0:15:15	昨日のヒアリングで話をした資料は全然それが整理されていない。
0:15:22	入口論でしか書いてないので、0では考え方としては不十分じゃないかという話であって、それについてこちらからコメントをしましたが、
0:15:34	その内容を理解し、ブラッシュアップできているということなのかっていう質問なんですけど。
0:15:46	はい。日本の田中です。こちらの方につきましては樋口のところは確かにここの考え方で示させていただいた通り、思っております、あとシミズ
0:15:56	コメントいただいたところとしましては、
0:16:00	は、
0:16:03	はい、辨野海老原です。すいません。昨日の発表いただいた項目については、そのあとこちらの方で、

0:16:10	中で議論してですね理解はしたつもりです。で、
0:16:19	相談、その他事項のところはまだそこは整理できてないのでそれが残っているような状態コサクです。蝦名さん。
0:16:29	その他のやつがまだ整理できてないってことは考え方が整理まだ終わってないってことだと思いますよ。
0:16:41	根井蝦名です。
0:16:44	大津 02 をベースに整理していくってところまで、昨日
0:16:49	なんすけど個別にそれじゃあ代替っていうのはまだちょっとすいません作業としてはできてないという状況です。はい。高坂磯状況わかりましたけど、昨日お話ししたのは、
0:17:01	わかる人が、
0:17:03	さっさと集まって、どういう方針であればいいのかを相談して決めて、作業に入るといことで作業に入って考えていくというプロセスではなかったはず。
0:17:17	そういうプロセスのつくり方の違いが我々の、
0:17:21	スピード感ある対応というイメージとそちらの違いと、
0:17:24	いうことであって、こちらのイメージのようにやるべきですねっていう話になったと思うんですけどなんそうになってないんですか。
0:17:36	今はそう考えてるでしょ。しかし、
0:17:57	はい、海野蝦名です。衛藤。
0:18:00	違いしてたかもしれませんが昨日、
0:18:03	層位のおっしゃっていただいたのは理解してて、我々として、まずその共通 02 をベースに作業するんだっていう方針を決めたと。
0:18:15	粘っている矢田コサクですすみません、ちょっとやっぱり認識がずれてるってことですね。
0:18:23	そんな形式的なところで、こちらコメントしたつもりは全然なくて、
0:18:30	わかる人が少人数集まって、
0:18:35	作業内容としての方針を決めるんですよね。
0:18:39	いうことを申し上げていて、
0:18:41	それがスピード感に繋がるということだし、そうやって決めて一つ一つ決めていくということが、それぞれの責任感ということを、
0:18:53	示す。
0:18:54	ことになるということをお伝えをしたと。

0:18:57	ということで、肝心のところが抜け落ちてるってということだと思います。
0:19:04	いや、日本原燃喜納です。今のお話を伺って、ずれがあって、重要なところが抜けてたということがありました。以上です。
0:19:15	古作です。そのずれが一長時間放置されないようにということで今、ヒアリングで話をしているということだと思いますので、
0:19:27	改めて是正をしていただいて、
0:19:32	その分類の整理の考えというのを、また認識合わせができるようにということだと思います。
0:19:44	そうするとどうなるんだっていう、
0:19:49	ところになりますけど、何かイメージありますか。
0:19:54	二本木一緒です。はい。
0:19:57	聞こえます。
0:20:00	はい。すみませんちょっと今日、大仲能登氏が来てとか言いますが、おっしゃっていただいていること私がうまく参画できなかったのが結果こうなっていました。
0:20:11	今日、ヒアリングは石田家の仲間に入って、使っていこうと思います。今日中にはフィニッシュさせますでイメージはもう掴めていて、文字起こして、
0:20:24	教えたり、イメージを伝えたりとかしてるんですけど、もう木藤氏へさせていただきます。あと最初に出た波及影響の話についてはもう当然申請しているイメージがあってですね、例えば
0:20:40	建物が倒壊したときに高さで評価をする場合、これ申請対象設備に入っていない事務棟とかもやるんですけど、同じグループでいけば分析建屋とかいろんな
0:20:51	安重にならないような建屋で同じような評価をしているので、そういうところで同じものの分類で、こういうものがありますというのがフラグが立っていれば、設計として説明することができるだろうと。
0:21:01	ということで考えてます。一方波及影響の中で、設備の構造とか設計を用いて波及影響がないって、説明をしないといけない部分については当然設備リストにエントリーされているので、
0:21:12	それはそういう形でフラグを立てて、何を設計で説明していくのかっていうのを認識できるということで、うまく整理できると思っていますので、

0:21:22	進めていきたいと思います。以上です。
0:21:26	はい。
0:21:27	コサクです。
0:21:28	了解しました。で、ヒアリングをすぐにとということでお話いただいたので、また今日資料提示をするということをし、最初に言われてましたから、
0:21:42	そういうのを踏まえて資料提出をしていただいて、
0:21:46	明日も午前中に、耐震での予定でありますけど、
0:21:54	ヒアリングがありますので、その
0:21:58	前なのか後なのかわかりませんが、時間をとればいいのかと思いますけどよろしいですか。
0:22:08	はい。檀辨野蝦名です。少しいただくと助かります。
0:22:13	すいません。一つ、
0:22:15	気前いただいた話で、累計の話。
0:22:21	エリート分類の話とですね設備で概要で関係というのも整理しなきゃいけないという話だと思いますんで、そちらについても、
0:22:31	ちょっとお話しさせていただきます。
0:22:35	まずですね全体として、その補助金の説明、
0:22:41	一方、DRB II もをしたものが対象になるというふうに考えてございます。そんな回答としてはまず、新設ですね、そちらを対象に整理させていただきます。
0:22:56	今三つにある
0:22:59	のキッズの改造の部分に最初広げていきたいというふうに考えてございます。
0:23:04	で、本部長は空をですね整理したものから、
0:23:09	当資料のバックとして説明の主体になると上部ってというのが、例えば、くらの外傷であったり国内であれば、いす医薬品
0:23:21	重大事故の三つで整理していくのがわかりやすいんじゃないかなというふうに考えてございます。
0:23:29	本来、ですね重大事故の例ということで、記載の程度っていう、記載の程度であったり記載の内容というのを確認していただく。

0:23:40	いうふうに考えてございますのでこちらもですねちょっと紙の一番下になってしまうかもしれませんが、本日目途に提出させていただきたいというふうに考えてございます。
0:23:51	はい。
0:23:52	資料というのはですねハブ機能を持たせたCEOになるように、
0:23:57	しなきゃいけないというふうに考えてございまして、
0:24:01	例えばまねっていう例なんですけど、何ですけども、
0:24:07	土佐資料イメージとしてはですね共通的な構造の考え方として、防対策設備は、
0:24:16	防護設備のように設置するというふうな値があります。関連条文の丸付けをしておりますので、それぞれに対して、要求事項を
0:24:27	あと要求事項に関係する設計方針、
0:24:31	は、関連、すいません要求事項を達成するための構造設計を示す必要があるというふうに考えてございます。その説明を紐づける形で図面をつけて、
0:24:42	特徴的な部分というのを、図面に吹き出しで情報を記載すると。
0:24:48	例えば、最初に引き渡したりしなければいけませんので、
0:24:54	ICのこういう
0:24:57	なし。
0:24:58	こういう説明をするのでこちらへ来ますとかですね。
0:25:02	外部火災ね。
0:25:04	ベース部分として、外部火災の方では広域の補足の中でこういう説明するんでこちらに飛ばすとかですね、そんなふうな下部機能としての資料を作らなきゃいけないというふうに考えてございます。
0:25:18	これはちょっとあのさ、清のイメージだけということにはなりますが、以上のように考えてございます。
0:25:30	古作です。
0:25:33	次の話にも行っちゃったので、
0:25:36	あれなんですけど、
0:25:37	B1B4D、考えがまだ整理できてないということ私から指摘をした形になって、
0:25:46	んなんですけど、その作業の中での悩みなり何なりで今日相談しといた方がこの後の、

0:25:53	原燃内での議論で資料作成という、
0:25:58	関係から
0:26:01	何か話はないですか。
0:26:12	日本メディアですすいません。今、ビーチすいません、Pの方のお話でしょうか。の悩みというのは、すいません。ちょっと私も、
0:26:22	話が出しますが、
0:26:27	古作ですけど別にでもあればいいですよ。
0:26:36	はい。刀禰の蛭名です。
0:26:39	新部分類を加えては、今、悩みというのは、先ほどお話をさせていただいたものになっておりました。以上です。
0:26:52	コサクですけど先ほどお話ししたっていう。
0:26:56	具体的に話を聞いた覚えがないんですけど、
0:26:59	まだ整理できてませんっていう悩みしか、
0:27:02	いや、言ってないですが、具体相談。
0:27:06	いろいろすぎないことはないんですか。
0:27:11	はい。日本原燃田中です。
0:27:14	毎年ちょっとたびたび話題に上がってきてしまってるんですけどもこの有毒ガスのところの扱いが、昨日まで2-1というところに、
0:27:24	置かせていただいたところだったんですけども、こちらの方のプリセール評価というものについては、よくよく紐どくときんかです。そこまでやっていなかったものかなというふうに思っておりまして、改めてこのBで整理し直した方がいいのかなというふうに今、
0:27:42	考えていたところでした。
0:27:45	はい、古作ですそれはあれですかね、昨日の話で、分類のときの基礎としてわあ、既認可でどう扱っていたか。
0:27:56	診察みかどうかと、というようなところを踏まえるっていう古藤、その路線でやっていこうということでのぶれはなくなってるってことでいいですかね。
0:28:08	はい。日本の中でその切り口で線を引いて、
0:28:14	追加になったものがあるのかどうなのかそういう見方で今、考えを改めて、
0:28:20	見直しをかけていくというような状況でございます。
0:28:24	はい、大作です。

0:28:27	その作業としてはこちらの認識とはずれはないと思いますので、進めて いただいて結果として今みたいなところでの変更があります。ただ、
0:28:37	見渡すとこれで平仄がとれていると思えるかどうかというのを明日確認 できればいいかなと思いますけど、そんなイメージでいいですか。
0:28:47	はい。長友田中です。うん。
0:28:51	共通認識。
0:28:52	設けたかなというふうに思っておりますので、今の考えで一般
0:28:57	の案件を地域に支出したいと思っております。
0:29:02	はい。補足です。BさんB様なんかは、悩みはない。
0:29:07	ですかね。
0:29:16	はい、天野田仲です福地さん。
0:29:19	いただきましたコメントの中でB、B1、P1BからBRLへ流れとかで すね、P3の話とかもありまして、一通り分厚い
0:29:31	頭の中に水がついてるかなというところはあって、知らない、やはり個 別のところで、本当に変更があったか何かというところについては、先 ほど申し上げたような考え方でもう1回直してですね、
0:29:44	BMたやつを本当に変更ん
0:29:48	はい。確か運用だけのものかどうかというのを改めてお話しておりま す。
0:29:54	はい。コサクです。昨日の話から具体的に作業していただいているようなの で、今日の資料提示明日のヒアリングで確認できるかなと思いました。
0:30:07	それで進めていただければと思います。
0:30:10	先ほど海老根さん、蝦名さんから言われた、構造の説明ということでの 作業の進め方ですけど、
0:30:22	大枠としては理解できないこともないのですが、言われた最後のとこ ろ
0:30:32	ハブとしてということを言われていて、それもそうだと思います、そう だとする等、DBとSAも結局関連してくるところがあって、
0:30:44	分けて説明しますというのが、どうなるのかっていうのが若干、
0:30:51	本クリアに、思い描けないところがあるんですけど、
0:30:57	ここはあれですかね一旦やってみてヒアリングで話をしていくっていう ことですかね。

0:31:06	はい。日本原燃のエリアです。基本的にはそうなんですが受けて説明というのは資料が、
0:31:14	単位を借りるだけで、
0:31:18	何ですかね、椅子メインであって、もう、例えばそのS A側に引き渡す部分とかもあるんでそこはちゃんと資料の中で表現され、一緒に、
0:31:29	はい。仁科です。今新規でやってるから、そんなにすぱっと分かれるけど、改造になったら話が違ってくる可能性はないですよ。
0:31:40	なので早速含めて多分やりながらちょっと整理をさせていただいていうことなんじゃないかなと思ってます。
0:31:46	はい。コサクです。おっしゃる通りの私の懸念です。
0:31:51	で、なので、
0:31:54	まずは新設でやってというふうに言われましたけど、私としては改造の方が、
0:32:05	資料として提示をする視点としては漏れなくできるのじゃないのかなというふうに思っていたんです。
0:32:14	ちょっと視点が二つあって説明項目という関係からは新設が一式、
0:32:21	抜き出せると。
0:32:22	ということで、改造だと、改造のポイントしか。
0:32:26	もしかすると、入れない可能性も出てきちゃうので危ないなあというところがありますので、新設まずやるという、まずというか新設はやる
0:32:37	というのは、それはそうですね。
0:32:39	で、一方で今言ったように改造のところでのポイントっていうのは、その次になって言っちゃうと作業が遅れますよと。
0:32:47	いう気はしてて、
0:32:49	新設と改造で
0:32:52	蓋！！。
0:32:53	サンプル作った方がいいんじゃないですかっていう気がして、昨日お話をしたつもりだったんですけど、いかがですかね。
0:33:05	はい。
0:33:07	ちょっと改造の方も、
0:33:09	いうふうにつきまして、

0:33:12	今おっしゃっているリスクは、うちのお考えをいつものパターンのリスクが当然ありそうな気もするので、直接的なものだけを見て、
0:33:22	住み分けって関連するものって、十分抽出できないっていうパターンが、陥りそうな気もするので、改造のパターンも作ります。そういった上でどういう視点でこの資料を求めていかなきゃいけないのかっていうのをまとめて、
0:33:36	提示をさせていただけるようにしたいと。
0:33:40	はい。補足ですよろしくお願いします。
0:33:43	基本的にわあ、そのリスクを意識して、審査、前回の審査会合の資料では、君かなりの条件から変更が、
0:33:55	不要だということを説明しますということで原燃から説明されたと。
0:34:01	いうことであって、この段階でもう改造ものだったとしても、新設と同じように項目は並べて、その中で変更ないですよと。
0:34:14	ものとして変更ないですよってこうだから、説明も変更事項ありませんっていうようなことを言われるんじゃないのかなというふうに、
0:34:23	思います。そこのあたりをサンプル作っていただいて認識合わせをしていければと思いますのでよろしくお願いします。
0:34:33	はい。りゅうぎん三品でございます承知しました。
0:34:42	木瀬ショッカーから、すいません原燃からわあ、本件についての状況なりの、
0:34:51	説明ってのは以上ということでもいいですか。
0:34:57	はい、稲見田仲です。以上でございます。
0:35:00	はい、佐古です。規制庁側で、現時点で言っておきたいこととかありますか。
0:35:10	規制庁の田尻です。すぐに最初にやんなきゃいけない話じゃないかもしれないんですけど、例えばの項目でいうと、溢水と薬品で計上してるやつての結局整理どうすんでしたかとか、何か個別個別でいろいろ言ってきた気がするんですけど。
0:35:24	そこらの回答等も含めて、いろいろ方針を今原燃で練ってると思っておけばいいですかね。
0:35:32	はい。乾さんですか。はい。参ってる状況でございました。
0:35:37	衛藤たり率、段階を追いながら何か示されるのかわかんないんですけど

0:35:44	世古梶山のタイミングで聞くことになると思うのでいろいろ準備よろしくをお願いします自分からは以上です。
0:35:51	コサクです今の点をした2、どういう状況であって、S、した相談できないのであればいつぐらいに相談するつもりかがいえるようにしといてください。
0:36:05	はい、米田です。承知しました。
0:36:14	はい、規制庁タカハシその他規制庁が設計原燃がどちらでも構いませんけれども今本件に関して何かございましたらお願いします。
0:36:29	規制庁高橋です。特にないようでしたらまた、原燃から整理して、明日ですかね。
0:36:35	資料提出ですね。
0:36:37	今日資料、教育長白根杉井ですか、青の方、対応をお願いいたします。
0:36:48	役所とか、はい、規制庁高橋ですそれでは本件は、これ、ここまでとして次の議題に移りたいと思います。
0:36:57	規制庁の館です。ちなみになんですけどさっき元ない設備構造の話触れた気がしたんですけどあれももう輪っかでもいいんですけど。
0:37:10	はい。うんレベルです設備構造の話も、先ほどお話したので終わり、こちらから説明するのは以上になります。
0:37:20	規制庁鳥井です。いや説明するのは自由でいやなんか悩み事があるんだったらそこ解決し得る次に繋がらないってところだったんですけど、特にそういうのもなくて作業進めるってことでいいですかね。
0:37:33	文面の前の数、一つ悩みがあるのは、
0:37:39	多分ですね今ね、
0:37:42	竜巻なので、細かいところまで
0:37:47	資料の中に入れてるんですが、ハブっていうことで考えると竜巻だけではなくて全体の話になるので、
0:37:55	竜巻側の補足に飛ばして、
0:37:59	書くべきなのかどうなのかというところはちょっと悩み、細かい検討の工場の説明ですね、そこが悩んでおります。以上です。
0:38:11	規制庁の土岐です。別に、今作ってる資料ですべての図面がそこに載ると思ってなくて耐震とかの話も当然耐震の方で具体的に聞いていくところにはなるとも思っていて、

0:38:21	ただ設備の全体の概要として、どの条文にどう絡みそうなのかっていうのをとらえるために、統一的なものを、すでにある図面とかおっしゃってるちゃんと作ってくればいいですよっていうのがもとの発端だと思ってるので、
0:38:33	別に、商材の竜巻の評価をどうやっていこうと思ってるのかは当然竜巻の補足に富んできゃいいもんじゃないかなとは思ってますけど、そんな回答で解決できそうなんでしたっけ。
0:38:44	米田です。はい、企画課は、そうだと思うんですけども、今構造の細かなところまで、
0:38:54	表で分けてですねここ、
0:38:58	記載してると思うんですけど、ちょっと細かすぎるかな、そういうふうな内容も含めて、
0:39:04	例えば瀬田都築 10 奥川に預ける。
0:39:07	いいのかなっていうふうに線がしてるところでした以上です。
0:39:12	規制庁のタジリつ細か過ぎるっていうのがどこを指してるかがよくわからないところなんですけど今やってんのが竜巻のネットの話なんで、竜巻起因に関して言うと、別に全部つけたって、ネットの構造を示すことにしか繋がらない気がするので、例えばこれの評価の話だったら別に竜巻の補足に飛ばせばいいと思うんですけど、
0:39:31	何かね、何か他の条文に絡まないからこんなにつけたくないんですとかがあるっちゃう話ですか。
0:39:40	リフォームの瀬川です
0:39:43	て了解をちょっと見極め名慣れてないって言ったのが正直なところですね。やはり、豚よりお示しさせていただいて、
0:39:53	これは書き過ぎだぞとか。
0:39:56	これはさすがにチーフだろうというようなそういったところ Lower の、
0:40:00	極力原燃内でならして私はするつもりなんですけれども、まず 1 回具体を見ていただきながら、
0:40:07	ちょっと程度感っていうと、ここの
0:40:10	調整かけていけたなというふうに思っております。はい。以上です。
0:40:16	規制庁田尻です。今後相談があるということなんでそのタイミングでは構わないと思ってるんですけど。

0:40:22	結局各条文で今いろいろ用意していこうとされると思うんですけど条文ごとによってもレベルの差ってのは当然あると思っていて、例えば昨日火災のヒアリングとかやったんですけど、火災でも対策の設備とか出してくれば別に図面とか説明すればいいと思ってんですけど、
0:40:37	別に1通話構造がそんなどうこうっていうものはあんまりないので、それは竜巻に比べて説明薄くていいですよねとかっていうのも当然ありますし、竜巻に関して説明が薄くていいかっていうと、そこが評価上何か
0:40:50	考慮しなければいけないもんだったらちょっと細かく示しときゃいい話だと思ってるので、説明しなきゃいけないものが後にどう繋がるかっていうのを前も意識して整理してくださいねと伝えてるつもりなので、
0:41:01	いらぬ情報なんでも載ってるというふうに言ってるつもりもないので、ここは使わないでもしたくないんですけどっていうんだったら別に個別に言っていただければいいと思うんでよろしくお願いします。
0:41:13	はい。日本原燃蛸原です。承知しました。
0:41:23	はい規制庁タカハシです。その他何か
0:41:27	規制庁加減が構いませんけれども、
0:41:31	ございませんでしょうか。何か忘れてることも含めてですね。はい。
0:41:42	はい、規制庁タカハシ、置台になってるものがないようでしたら次の議題に移りたいと思います。
0:41:49	よろしいでしょうか。
0:41:54	はい。よろしく申し上げます。はい。原燃が何かメンバーの入れ替えとか特にないでよろしいですか。
0:42:01	はい。このまま続けさしていただいて結構です。
0:42:05	はい規制庁タカハシですそれでは次 10、なんか十時 17 ですか。
0:42:12	の関係のところですねポイント等説明お願いいたします。
0:42:17	はい。日本原燃の瀬川でございます十時 17 レビジョン 1、令和 5 年 1 月 31 日に提出した資料を用いてご説明をさせていただきます。
0:42:29	前回のヒアリングでのちょっとご指摘を踏まえまして、今回また蒸発乾固を例にですね、
0:42:37	申請書の構成の相関関係というのを再整理いたしました。その内容を主務 5 ページに示してございます。

0:42:46	あとまたですいません。5ページを用いて説明するんですけども、今回の資料のボリューム増えておりますこの後ろの方にですね、前回のヒアリングご指摘のあった在庫を例に
0:43:00	ご指摘のあったところですけども、
0:43:03	添付書類の、こういった情報が、どういう流れで在庫側の評価、開発評価に繋がっているんだといったようなところを、一連
0:43:13	面するところ抜粋したものを、
0:43:15	後ろの方にお付けさせていただきます。
0:43:18	これは後ろの方の参考資料はちょっと必要に応じてご説明をさせていただこうと思っておりますというのは、今回この5ページに示すようなですね繋がりというのをまた再整理しておりますので、
0:43:30	必ずしもその後ろにつけたですね抜粋の流れ通りに、今後ならないといったところで、ちょっとポイントだけ、必要に応じて活用させていただこうかと思えます。
0:43:40	ちょっとページの、
0:43:42	ご説明をさせていただきます。
0:43:45	とですね
0:43:47	また異なりから入って申し訳ないんですが前回のヒアリングで、相関整理という観点で言えばですね、この5ページの絵だけではちょっと足りなくて、
0:43:56	中段下ほどに書いてある健全性説明書ですね、こちらからぶった添付書類に情報が引き出されていくのか、逆に入ってくるのかという相関整理もこれもあわせて説明しないと、
0:44:10	全体がクローズしないというのは認識させていただきます。
0:44:13	一方でちょっと今日は、
0:44:17	ちょっと言い訳がま強いですけども、健全性説明書を中心に据えたときの情報の出入りというのは、1億数の審査できちんご説明させていただいていて、
0:44:30	最初に基本的にそれに準じるものということで御説明ちょっと後送りにしちゃってます。今回ちょっと特有部分として、
0:44:41	その健全性説明書に入ってくるルールのハブ的な位置付けも兼ねている、各に関する説明書、こういったものが、こういった情報を預かり、

	<p>どういった情報をどこに出しているんだといったところをまずしっかり固めたいという趣旨で、</p>
0:44:58	<p>ページの、資料会計過程でございます。</p>
0:45:01	<p>資料を見ていただきまして、この流れを作ったコンセプトをちょっと私どもちょっと書けよかったです、</p>
0:45:09	<p>ちょっと口頭で申し上げさせていただきます。</p>
0:45:12	<p>左側の基本設計方針のほうをまずご覧になっていただきたいんですけども、考え方の整理としましては、第1章の4.3、</p>
0:45:21	<p>これはシナリオですね、シナリオとそのシナリオに基づく系統設計の基本的な方針です。</p>
0:45:32	<p>国でとらまえています。</p>
0:45:34	<p>で、9.25にとらえています。ちょっと方針がですね、その系統設計を具体的にどういう要求を課して設計してくんだと。</p>
0:45:46	<p>言った部分36条の要求ですね、をどう当てはめていくんだといったところを規定したのが9.2、この4.3と9.2を、の要求を足し算して、2章として、個別施設をどう設計していくかと、A系統のラインナップをどうすべきかといったこと、そのラインナップした系統は、</p>
0:46:02	<p>どういう体制を持たせなきゃいけないんだとか、そういったところを、2章に展開するというコンセプトでそういう前提を置いております。</p> <p>で、</p>
0:46:11	<p>そういう前提に基づいて、</p>
0:46:14	<p>ポンプショルダーについては何を記載していくんだといったときには、やはり基本設計方針で考えている内容をそのまま添付側も預かるということでございます。</p>
0:46:24	<p>中段右側の上から二つ目のところで観光に関する説明書というのがございますが、</p>
0:46:31	<p>前、1.3、すいません、1、1ポチか、1ポチのところ、2で、先ほどの4.3で述べていたラインナップとしての、</p>
0:46:44	<p>基本的な方針というのをしっかり述べますし、</p>
0:46:47	<p>またシナリオを受ける形で、1.3として、具体的なその環境、事故時環境がどうなるのかといったところを、1.3で述べる。</p>

0:46:57	シナリオベースでは、やはりこういう温度とか圧力っていうのは、測定されますので、シナリオをつかさどっている、4.32 ひもづく添付書類のこの、これに関する説明書で、
0:47:08	そこら辺の情報というのを整理したいという思いでございます。
0:47:12	同じ観光に関する説明書の2ポチの部分です。これは、下の方から伸びておりますけど7233の、
0:47:21	大体安全冷却水系、ここは先ほどの4.3の基本的なラインナップの方針を受けて具体的に設備構成等していくんだといったところを7233で基本方針として具現化しますので、
0:47:34	その方針を受ける形で、
0:47:37	この中段右側の2ポツ目、大体安全冷却水系の基本方針といったところで具体的な系統設計の具現化する、そんな整理をしております。
0:47:50	この大体安全、左下の基本設計方針はやはり9.2の思想を受けた方針を記載しておりますので、その9.2の思想を受けた設計方針をどこに展開するんだと。
0:48:02	いうとですねこれは
0:48:04	ピンクの線矢印になりますけれども健全性説明書に預かるんだらうという、整理でございます。
0:48:11	はい。まずそんな基本設計方針と、添付書類との関係とはそういう整理をしてございました。
0:48:18	で、こっから添付書類館の説明になります、
0:48:24	中段ほどこのピンクのところを見てい
0:48:27	きたいんですけども、
0:48:33	中段の観光に関する説明書の
0:48:36	すいません、ちょっと規制庁が入ったのがあります。
0:48:57	はい。日本原燃の瀬川です続けさせていただきます。
0:49:01	当所、事故時の状態の規定というのは、先ほどの勧告に関する説明書ですとか、あとその上の水素に関する説明書のところで、
0:49:12	0.5MPaとか130度っていうものがどう
0:49:16	どう登場するんだという説明がなされます。その情報を、健全性説明書側に要望としてとしまして、
0:49:27	その下の健全性説明書のところではですね、先ほどのすみません、右側の方にオレンジの矢印で下に伸ばしてますけれども、

0:49:37	各事項の説明書では系統数になっても、設計方針も展開されますしその具現化というのもされますので、系統情報というのあわせて、是正説明書がわりとした。
0:49:50	その系統に対して、どういう性を持たせるかという方針は今後健全性説明書側で一括して述べられる、そんな立て付けにしてみました。
0:50:01	下ほどの方のピンクの吹き出しに記載しておりますけれども、
0:50:05	ピーク時荷重、系統情報というのが、上の観光に関する説明書から入って変えて参りますので、これらの情報をジョイントして、
0:50:15	事故時荷重が及ぶ範囲において健全性を確保しましょうねという方針が述べられ、その具体は、強度に関する説明書の方に記載しますよというようなパス出しを出す。
0:50:28	他にですね、内部流体の温度圧力に伴って、周辺環境が、
0:50:33	色が上がったり圧力が変動したりしますので、そういう周辺環境の環境条件に対してもですね、きちんと健全性を保全確保しましょうねと。
0:50:41	というようなところがこの健全性説明書で述べられる、整理をしてみました。
0:50:47	で、前回議論になったところのポイントで設定根拠説明書との関わりをどうするんだという部分ですね。
0:50:57	仕様表に記載されているその 130 度とか 0.5MPa という数字は、資料にももちろん記載しておるので、その数字を直接説明する添付書類としては設定根拠説明書が担うべきといったところは同じ認識でございます。
0:51:12	ただ 130 度とか、0.5 が助かるという数字は、紙ありをベースで出てくる数字。
0:51:20	あるといったところをとらえますと、
0:51:23	設定根拠説明書がダイレクトにその説明をするのではなくて、シナリオを受けるて、添付書類である観光に関する説明書たちが、
0:51:33	述べるべきであろうというふうに、今回はし、整理してございます。
0:51:39	で、今ちょっとピンクの矢印で設定根拠等、書類の脱力条件のところ矢印で結んでおります。
0:51:48	0.5 とか 130 というその字タルジそのものは、
0:51:53	うん。
0:51:54	これ

0:51:55	事故条文に関する説明書に会計が記載されてますよという意味でこのピンクの両矢印入れておりました。
0:52:02	で、
0:52:03	実際、
0:52:05	えっとですね、
0:52:08	130とか、0.5MPaという数字をどこまで適用させるんだと。
0:52:15	うん。
0:52:16	につきましては、
0:52:18	やはり系統の情報と合わせて、その範囲というのを特定しなきゃいけないというふうに考えております。
0:52:25	その情報というのは、健全性説明書側、系統情報と、
0:52:32	あと事故時の荷重という情報をジョイントする健全性説明書側で整理しようと考えておまして、
0:52:40	その130を適用する範囲、
0:52:44	というのはですねこの健全性説明書に、
0:52:47	うん、パネルというので健全性説明書と設定根拠説明書の会田横尾りを矢印で安する、それが整理をしてございました。
0:52:57	はい。
0:52:58	で、
0:53:00	それは今、私が申し上げた、口頭で申し上げたような内容というのはですね、具体的に、6ページ以降のですね、
0:53:12	説明書の展開と、
0:53:14	いった形で、今後という情報を付記して見直していきたいというようなところの本当の入口の部分の整理を、六、七、八、九、
0:53:25	1ページで示してございます。
0:53:28	説明としては以上となります。
0:53:32	はい。規制庁高梨です。それではただいまの説明に対して質問確認等ありましたら、お願いいたします。
0:53:42	すいません。大橋ですけれども、まずちょっと最初に確認しておきたいんですけれども、
0:53:50	設定根拠説明書を、

0:53:54	それはつけていて、一応マッピングがいろいろあるところなんですけれども、この辺で先ほど瀬川さんの方から温度とか圧力とかの話もありましたけれども、
0:54:07	そういった健康マーケの中でも適切には普及はされているということでしょうか。
0:54:15	ちょっと 115 ページ見ると若干そのマッピングし杉井規制庁の藤原です。前回かその前ぐらいのヒアリングで、石原さんからマスクingg ちよっともう 1 回精査しますって話もあったかと思うんですけど、
0:54:28	それをした状態のものが今回提出されてると思っていいですか。
0:54:34	はい。日本ゲームの瀬川でございます。こちらはマスクingg 対象じゃないというふうに判断してございました。はい。以上です。
0:54:44	規制庁の藤原です。
0:54:47	場合はすいません今回の資料でマスクingg している部分と、先ほど説明している部分っていうのは、きちんと整理されて持ってきているのかっていうのを聞いたかったすいませんコサクです。
0:54:58	整理されてないからこういう話になってるので、コメントする時にはそのクリアに言ってあげた方がいいと思います。
0:55:06	はい。
0:55:06	すいません。
0:55:08	4 インチ、4 イシハラでございます。前回お話しした 130 億が問題の話ですが、
0:55:14	多田のときも、今度、圧力、数字が全部出てます。須藤芦田家の経緯を確認した結果、
0:55:22	機器名称等、温度が直接紐づくのは、機器の状態であったように一つ頭でマスクingg したいというのが、
0:55:32	ブースティング部門の答えだったんですが、であれば、温度を隠すんじゃなくて機器を確証が持てたやり方があるだろうということも、話をしていますただまだ結論が出てないのに今中途半端な資料になってます。
0:55:45	そこは早急にクリアにさせていただきたいと思います。以上です。
0:55:53	はい、わかりました。こちら、
0:55:56	補足です。それであればその整理の考え方みたいなのをまたどこか
0:56:02	説明いただいて、それに応じて適正化をどう進めていくのかみたいなことを、

0:56:11	お話しただければなと思いますのでよろしくお願いします。
0:56:16	西浦でございます。いたしました。
0:56:23	はい。規制庁高橋ですその他何かございますでしょうか。
0:56:29	はい。規制庁高橋です。ちょっと最初に、ごめんなさい。私から一つ確認をさせていただきます。先ほど少し何かまず入口の整理というような話もあったかと思うんですけども、
0:56:40	今回前回の市、この図から少し、
0:56:45	前回少したくさん情報が入り過ぎていた部分を少し整理してですね、見やすくというところがあって、多少は健全性から浦崎のところを省略するとかってのあるかと思えますけれども、
0:56:57	高野ズーい今回入ってるところっていうの関係性っていうのは、一通りの繋がりというのは網羅してるというふうに考えてよろしいのかというところ。具体的に言うんですけど例えば、
0:57:10	4ポツ3のところから、添付資料が出てるよ、6-1-1-2-2の方には出てるんですが例えば、
0:57:20	6-1-6-2の買いたい関係の方には線が繋がらなくていいのかとかですねそういうところっていうのが、もしかして漏れてるのか或いは意図的に果たせるのかってところがあるかと思うんですが、
0:57:30	要は又関係性ですね、すべてすべて網羅性尋ねてるか、それとも入口なので、まずは主要なところだけなのかというところをお聞かせください。
0:57:43	はい、日本のような瀬川です。
0:57:46	矢印として全部、性を示したものとしてですね、示し切れてるかと言いますと、それちょっともうですということになります。
0:58:00	具体的にはですね今回ちょっと説明したい関係の部分だけをですね、矢印引っ張ってありまして、ラインが抜けてるかというんですけど実際には、中段ほどの観光に関する説明書から、
0:58:15	大体換気設備に関する説明書といったものに、津田氏が発生してますので、そこのLCを加えなければいけませんし、同様に水損に関する説明書から関係に関する説明書の貸し出しもございますので、
0:58:29	その関係性はきちんと矢印で示さなきゃいけないと思っております。
0:58:34	で、
0:58:35	高梨さんがご指摘された4.3は、換気には伸びなくていいのかと。

0:58:41	いった部分は、これは伸びなくていいというふうに思っております。
0:58:46	4.3 は、それが展開される場所というのはですね、過去に関する説明書のちっき、
0:58:54	うん。
0:58:55	返される。
0:58:56	もの。
0:58:57	そして、同様に、飛田梨衣大体、安全冷却水系個別項目の代替安全冷却水系の方針というのは、同じ添付書類の中なんですけれども、ポッチのところに展開されるこそ、同じ添付書類の中で、
0:59:13	何といたらいいんでしょうね。
0:59:16	イメージとしては、今、
0:59:19	宮路観光に関する説明書といったところの中で、2 ポチというふうに書いてますけれども、これ、イメージとしては、その下の設備に関する説明書、パパパッページのたまたまこの観光になってる説明書の中に、
0:59:32	これとしてるんで、
0:59:36	ちょっとおかし込まれていると。
0:59:38	というような整理でございます、ここ点基本の設計基準との関係性の矢印としては、
0:59:46	不足はないというふうに思っております。以上です。
0:59:50	はい規制庁タカハシです今の 4.3 から菅ご関係載せ話につきましては、
0:59:58	そういう精鋭整理伺いました。
1:00:00	ただ、また、
1:00:01	それちょっと戻りますけれども、今回の先ほど線の引き方のところについては特に説明のポイントに絞って合わせて引いているということだったのですけれども、
1:00:12	そうするとそれ以外の箇所の繋がりっていうの整理っていうのはまた別途何か、指名されとか或いは整理されるという形があるんでしょうか。
1:00:24	はい、植野瀬川でございます冒頭申し上げさせていただいた健全性説明書からパス出しといったものは、館
1:00:33	ページを別にしてちょっと書かないと書ききれないといったところもあって、
1:00:36	だってそういうのも追加しなければいけないと思っておりますし、

1:00:40	まず、今日ご確認というかご指摘いただきました部分にフォーカスした関係整理がですね、
1:00:52	ある程度まとめればですね、
1:00:54	つなげなきゃいけない線があるの認知しておりますのでそれを順次また追加して、
1:01:00	最終形に仕上げたいというふうに思っておりました。以上です。最終的に仕上げたいというふうに思っております。以上です。
1:01:08	はい規制庁タカハシです今の点はわかります。わかりましたまたそういったところは改めてご説明させていただきます、いければと思います。
1:01:18	ではその他、規制庁側から何かございますでしょうか。
1:01:23	選挙待ちですけれどもちょっと何点か確認をさせていただきます。
1:01:27	まず1点目ですけれども、
1:01:36	このIIの左の基本設計方針の個別事象の方の2.1 溶解設備等ということが、
1:01:45	書いてあります。で、こちらですけれどもこちらに関しては右の方の添付の方に飛ばす。
1:01:52	いや、
1:01:53	矢印がないんですけれども、こちらは飛ばさないものなんでしょうか例えば、この資料の44ページを見ると、
1:02:05	44ページがこれが
1:02:10	これが精製建屋、制定施設の方を事例として
1:02:16	つけてますけれども、ここを見ると、各
1:02:21	黄色くマーカーが引いてありまして、こういう設計をしますということが順次書いてある感じなんですけれども、これは店舗の方に飛ぶことはないんでしょうか。
1:02:37	はい。日本原燃の瀬川です先ほどの高梨さんの指摘に対して問題ないと言っておきながら、すいません。
1:02:45	そこの点はあえて外したのは、ちょっと今回の説明では
1:02:51	使わないつもりだったのでちょっと外したところがありました。えーとですねこれ続けなければいけません。溶解設備については、個別項目の溶解設備の方針は、
1:03:03	健全性説明書でダイレクトに受ける。

1:03:07	という整理をしておりました。具体的にこの溶解設備のところ、何を 書いているかというですね、
1:03:16	個別の項目としての基本設計方針、溶解設備に、
1:03:20	存在してる蒸発乾固の発生を想定している貯槽たちその貯槽の設計方針 を述べてます。
1:03:28	具体的にはちょっと、
1:03:31	すぐページめくりませんのであれなんだけど、ここで申し上げると、こ の事故時の環境で、放射性物質の保持器の
1:03:40	機能を喪失しない設計にしますということを、
1:03:44	述べさせていただいております。
1:03:46	9と2で述べてるような、
1:03:49	廣瀬市的分散とか、そういう観点が、
1:03:53	決めませんので、
1:03:54	もうちょっと特化した、非常にシンプルな投資を述べてます。その方針 を具体的にどこで展開するかというと、先ほどの、
1:04:05	健全性説明書の
1:04:07	今大橋さんが例示で、
1:04:10	違う。
1:04:13	健全性説明書ですね、すいません十時。
1:04:18	十時 00 の資料の
1:04:20	健全性説明書の
1:04:24	今回の資料でも、前回のヒアリングでも例示させていただいたですね 336 ページ。
1:04:33	334 ページからか。
1:04:35	334 ページから、
1:04:38	栄養解説Bということで、個別施設の設計方針記載しておりますけれど も、
1:04:44	ここの部分に紐づけて展開するというたてつけにさせていただきました。以 上です。
1:04:54	あれ。
1:04:56	この健全性説明書の方に、
1:04:59	ひもづけられるということですかね。はい。
1:05:03	配布です。すいません。ちょっと考え方がよくわからなくて、

1:05:12	D B 設備だと、健全性説明書に直接鳥羽数、
1:05:18	載ってほとんどないような気は。
1:05:21	出て、
1:05:27	本当にそうですかっていう気がするんですけど。
1:05:32	はい、了解設備等以外であれば、それぞれ条文対応する添付書類の方で 1 回受けてから、
1:05:43	強度だったり、今日強度はちょっと間接的ですけど、
1:05:50	ごめんなさいね。ええ。
1:05:54	健全性説明書を
1:05:56	設定根拠説明書というふうになるという、
1:06:00	ゴソウなん。
1:06:03	ですけども、
1:06:05	第 2 章、基本設計方針第 2 章、2 ポツ 2 ポツ 1 だけはそういう事故がないと、 なんでそうなるのかなってというのが、
1:06:14	よくわからない。
1:06:16	です。
1:06:17	なんか、思想として、ここの部分の基本設計方針って、
1:06:22	特徴的なんですか。
1:06:25	はい。日本原燃の瀬川です。
1:06:29	松浦さん、石原さんフォローしてください。
1:06:32	それとですね。
1:06:33	溶解設備のようなプロセス設備ですね、もう最初に本当の本当、精製設備 とかのプロセス系の設備、
1:06:42	これを直接受ける添付書類というのは現状今ないです。
1:06:49	これ米田です。申し訳ない。
1:06:54	プロセスとしての機能としての添付書類はないのそれはわかっていて、 そうではなくて、4 歩った影響大小の 4 ポツ 3 を受けて、
1:07:06	個別に持っていったる内容というのを受ける添付書類というのは、結局 は 4 ポツ 3 と同等のところに入っていかなきゃいけないってような 気がしていて、
1:07:18	値なの大体安全冷却水系については 2 ポツとして入ってる。
1:07:25	添付書類の中で 2 ポツで入っていると、いうことだと思うんですけど。
1:07:29	大本の貯層が一入らないってことの、

1:07:35	考えがわからないっていうこと。
1:07:38	なんです。
1:07:41	1 ポツから
1:07:44	展開したときに、
1:07:46	おそらく、
1:07:49	蒸発乾固説明書というのは、大体間間い説明に飛ばすようなくだりはないと。
1:08:03	4 ポツ 3 をちゃんと受けた形にならないんじゃないかなと思いますし、 そうだとすると、溶解設備等についても、何らかということであって、
1:08:14	振る場所がないっていうんだったらこの中に入るってことのような 気はするんですけど。
1:08:21	はい、日本瀬川さんご指摘の点はまさにその通りだしそういう整理がで きると、いうふうにちょっと感じました。はい。
1:08:32	ちょっと明快つつ再整理させていただきます。
1:08:35	はい。補足です。それが 00 資料別紙 4 で、基本設計方針等対比をつけ ながら、この場所でこういうふうに変えていくことによって説明が、
1:08:48	十分漏れなく対応できるというところのチェックになるんだと思ってま すので、整理を進めてください。
1:08:57	はい、日本の磯田で承知いたしました。
1:09:04	あ、はい。よろしくお願いします。
1:09:09	次の点ですけれども、
1:09:14	これは
1:09:19	この表の左側の共通 1 相共通項目の 9.2、重大事故対象設備ってあるん ですけれどもこれ、
1:09:29	9.1 の安全機能を有する施設。
1:09:34	というのも、衛藤
1:09:37	等は書いてないんですけれども、例えばこの 30 資料の 34 ページ、
1:09:46	十時 17-34 ページですね。
1:09:49	これの、
1:09:54	これが、
1:09:56	材料構造の方の資料です。すいません。これが 9.3 の、
1:10:03	そうですね、材料構造ですね。

1:10:05	これのところを見ると、その上のところのハッチングの部分を見ると、9.1、安全機能を有する施設及び、9. に重大事故対象設備の要求を踏まえ、云々というふうに今書いてある。
1:10:17	ということで、9.1、もそれを踏まえて第健全性説明書の方の方に伸びるというような整理かなというふうな気がするんですけどもいかがでしょうか。
1:10:43	少々お待ちください。
1:11:04	井上野瀬がですね、ちょっとですね今大橋さんは問題視されたところっていうのをちょっと、私自身、
1:11:11	理解してきてなくてですね。そうですね。申し訳ないです。はい、お願いできますか。私の声が聞こえなかったということなの。いや、違いました。私の理解がちょっと追いつかなかった。
1:11:23	それで、
1:11:25	いや、えっとですね、
1:11:27	はいよろしいですか。
1:11:29	すいません。このよろしく申し上げます 117 の資料の 34 ページですね。
1:11:36	この資料で上のところに黄色くハッチングしてますけれども、
1:11:42	そこを見ると、共通項目の 9.1 及び 9.2 を踏まえ、の要求を踏まえ、座屈が生じない設計とすると。
1:11:53	というようなこの文章があります。
1:11:57	そういうような関係性を見ると、その 9.1 と 9.2 を踏まえて健全性とかそういった方に伸びる。
1:12:06	んかなというふうに想像したんですけども、いかがでしょうかという質問です。
1:12:12	はい。日本原電の瀬川です。まずここの 9.3 章、材料構造に関する
1:12:20	設計方針を述べているところでして、
1:12:23	材料構造の方針としては、デービーの条件である 9.1 の案いう。
1:12:31	の条件と、
1:12:33	9.2 の S A の条件、こういったものに対して、きちんともう耐えられる構造材料を使いましょうというのを 9.3 で規定していると。
1:12:44	いう場の認識です。まず基本設計方針の中ではそういう整理で、
1:12:50	ここでは、ページの図ではですね 9.2 から、今、

1:12:58	114 重大事故等対処設備が使用される条件の健全性に関する説明書に紐付けてます。
1:13:06	9.1 のああいうはですね。
1:13:10	これも右下のその健全性説明書のもう 1 個ナンバリング 1 個上に、
1:13:15	1141 って言って、
1:13:18	瓜生が使用される条件を健全性説明書というのがいまして、そっち側になっていく。
1:13:24	そういう整理で、
1:13:26	ございました。
1:13:28	以上です。わかりました。ちょっとそちらの方も確認してみたいと思います。はい。
1:13:35	古作です。今更ですけど、ホ、へ今更ですけど、耐震の方では、DBとSA分けずに、まとめて、
1:13:47	一体で評価した方がいいのじゃないかとシートもまとめたらいんじゃないかと。
1:13:52	いう話をして、
1:13:55	いますけど、
1:13:57	健全性説明書って、何で分けるんでしたっけ。
1:14:10	答弁したんです。
1:14:13	石原さん。
1:14:14	来てらっしゃいませんか。
1:14:23	いや、すいませんコサクさんはちょっと懸念されたところはですね本見るとですね、ああいうと一切これ一色単に健全性説明書をまとめて書いてるんですね。
1:14:35	もともとMOXの審査の時も、最初の
1:14:40	初版はですね、まとめて書いてたものを出してたんです。
1:14:44	まとめて書いたのを出したんですが、ちょっと、
1:14:48	どう、どうして分かれたのかというのをちょっとすみません私は、私が認識してないのはまずいんだけど、
1:14:56	イとして分けたわわかりさせたんですね。はい。
1:15:01	すいません説明になってなくて多分事実だけを述べてしまいました、
1:15:05	はい。ちょっとですね内イシハラにちょっと確認し、ご回答しますはい。以上です。はい、古作です。私も、

1:15:15	今から質問して、
1:15:18	どうしたんだって感じがあって、瀬川さんを責める。
1:15:22	資格はないんですけど、
1:15:28	それを棚に上げていうと、
1:15:32	その経緯がわかっているのであれば、なおのことなんでだっというのを聞いた上で、その趣旨に沿う作業をしていくと。
1:15:41	いうことかなと思いましたが完全に棚に上げているので、申し訳ありません。
1:15:47	なんで言うかっていうと、結局同じ説明が多くなっちゃうよねっていう気がするので、
1:15:57	特に貯層なんかは完全に両方、
1:16:01	抱き合わせの
1:16:03	D B S A 兼用ですし、
1:16:11	そうですね、DBとDではSAではっていうようなふうに見た方がいいようなものもありそうな気がしたので、お話をしました。改めて、確認のうえ説明いただければと思います。
1:16:25	はい。植野瀬川で承知いたしました。
1:16:30	あ、はい。よろしくお願いします。
1:16:33	あと、
1:16:36	次の点ですけれども、この5ページ目の図で、また健全性説明書等設定根拠説明書がその両方向の矢印になっている関係性がありますと、
1:16:48	いうのはわかりますけれども、一方で、この資料の108ページ、
1:16:56	これは何だ。
1:16:58	これは健全性説明書の方のあと、通しページ108ページですけれども、
1:17:10	108ページの下の方を見ると、一応また考慮すべき環境条件については、3.2の増井層、3点、ローマ数字3の3の有機溶媒
1:17:22	化、蒸発乾固とかを、
1:17:26	おいて示した通りかの条件とするということで、ここでは特にその設定環境説明書との関係とかは特に示してはいないんですけども、この辺は示す必要は特にないということなんででしょうか。
1:17:38	それとも。はい。
1:17:44	すいません。浅川さんすいません。どうぞ。
1:17:48	はいどうぞ。はい。

1:17:53	はい。日本原燃の瀬川ですすみませんこのちょっと利用を矢印の無理というのが、私自身もちゃんとしっかりまだイメージできてないんだなっていうのをちょっと認識しました。
1:18:08	-130度とか、0.5MP a、
1:18:13	というのは、
1:18:14	あくまで持ってきているのは、シナリオベースで、説明がされる観光に関する説明書水槽に関する説明書から、
1:18:23	来ているという思いがまだありますので、
1:18:28	ちょっとされて108ページはこういった表現になっています。
1:18:39	何ていうんでしょう、設定根拠説明書から戻ってきてる数字じゃないんだよという思いがやっぱりまだあるんですね、ちょっとそれが正しいのかっていうのはちょっと、すみません。
1:18:49	うん。まだちょっと整理できてないですね。コサクですすみません、整理できてないのは両矢印になってる時点でわかっていて、
1:18:57	そもそも矢印の向きの考え方がまだ整理できてないということと私は思っていました。
1:19:06	で、
1:19:08	DBの方とかで話をしていることと、
1:19:12	基本上流一色の説明にな、一色の説明というか大枠説明になっていて、それを具体的に説明するというときに、
1:19:23	ここで具体的に説明するんじゃなくてあっち側で具体説明しますということでゆだねるという時に矢印を、そのゆだねる側に向くように、
1:19:36	線を引いていると。
1:19:38	ということだと理解をしています。だから本文から添付に矢印が向いていると。
1:19:44	ということなんですけど、今の瀬川さんの添付の中抜矢印。
1:19:52	の書き方はそうではない、抜きにしちゃっている。
1:19:57	んだと思います。
1:20:00	なので、それをちゃんと逆向きにしていくってということ等がないと、
1:20:06	作業が収束しないんじゃないかなと思ってまして、
1:20:15	例えば今の話でいうと、
1:20:19	健全性説明書D、
1:20:24	このこういう設備は何度何度で

1:20:28	何だろう。
1:20:30	事象が発生したときに至る温度に耐えるように設計をすると。
1:20:36	それは具体的に何度ですと、
1:20:40	書くことになると思うんですけど、そうするとその難度って何っていうと、そこで説明する仕切るのではなくて、個別の
1:20:51	缶乾固なり水素なりと、
1:20:55	いうところの説明書で具体を示しているのでそちらをご覧くださいということ飛ばすと。
1:21:02	ということで矢印は下から上ということになるんじゃないかと思いますがどうかがでしょう。
1:21:09	はい。日本原燃の瀬川です。すいません、整理いただきありがとうございますその通りだと思います。
1:21:16	設定根拠説明書から伸びる矢印としては、観光に関する説明書推進に関する説明書に向かう矢印一方向、そっち側に記載している数値に、説明にゆだねますという思いで、上方向の矢印だけになりますし、
1:21:34	あと、今健全性説明書と設置公共説明書の関係これ互いに相関して預けみたいなのが本当にあるのかないのかというのを、今一度ちょっと精査しますけれども、今ぱっと終わってる。
1:21:46	病院においてはですね。
1:21:48	うん。
1:21:49	立地方向で、
1:21:50	根拠に関する説明書から、健全性。
1:21:54	左向きも矢印1方向かなという印象です。以上です。
1:21:59	はい、古作です。私も、基本はそうだろうなと思ってます。出井。
1:22:05	その健全性説明書を変えていった中で、
1:22:10	何か、
1:22:12	他のパラメーターで呼び込みたいなっていうのがあれば、そっちの矢印も出てくるのかもしれませんが、今みたいな5回位が生じないように、矢印、もしそういうのがあれば両方の矢印を書いて、
1:22:26	で、
1:22:27	こちら側はこういう趣旨、こちら側はこういう趣旨とわかるようにしていただくということかと思いますがよろしくお願いします。
1:22:37	はい。小野瀬が承知いたしました。

1:22:42	はい。私からは一旦、大丈夫です。
1:22:54	強度のに関する説明書関係なんですけど、
1:22:58	健全性に関する説明書からは、この強度、耐食性に関する説明書には伸びてないんですが、吹き出しのところに、
1:23:07	健全性を確保って言いながら矢印で、この説明書への説明があるんですけど、この辺ってどう。
1:23:15	どう整理されようとしているのかって、もう少し説明いただけますか。
1:23:20	はい。日本原燃の瀬川でございます。申しわけない。はい。こちらでございます。申し訳ございません。
1:23:31	すいません、日本に見せまして今ちょっと
1:23:34	通信回線が何か、
1:23:37	変になって、
1:23:39	藤原さんの発言が2回連続で流れてきたんですが、今私の話してる内容っていうのはしっかり、
1:23:46	聞こえてらっしゃいますか。規制庁藤村です。一緒に中になったんですけど、今大丈夫です。よろしく。
1:23:53	はい。続けさせていただきます。
1:23:56	うん。藤原さんのご指摘、B、
1:24:00	神戸線が引いてないだったらその通りですね、あの線が必要です。
1:24:05	健全性から強度に関する説明書に向かう線が必要でございます。その趣旨はですね、同じ資料の、
1:24:14	8ページ。
1:24:16	ください。
1:24:20	健全性に関する説明書の展開方針。
1:24:25	の抜粋を記載してございます。8ページの右側のところで、清澄計量設備のところで、三つ目にや矢羽根がございまして。
1:24:38	先ほどの吹き出しに書いてあった趣旨ですね。
1:24:42	内部流体温度圧力に対して耐えることについては、5章に示しますという飛ばしをかけてございました。
1:24:51	ですので、先ほどの5ページのところではですね、矢印の線が必要となります。以上です。
1:25:06	すいませんコサクですちょっとよくわからなかった。
1:25:10	だったので、

1:25:12	すみません、フジワラの責務をちゃんと聞いてなかったっていうのもあるんですけど。
1:25:18	今言われてたのは何の書類。
1:25:23	ての記載ですか。
1:25:28	日本垢瀨川です。今、説明していたのは10時17の資料ですね。あ、ごめんなさい、大坂です。補足のところですかではなくて、添付書類のところですか。
1:25:43	はい。添付書類で言いますと、健全性説明書になります。
1:25:51	等、
1:25:52	古作です。健全性説明書カラー
1:25:56	乾固なり水素なり、
1:26:00	を呼び込むっていうこと。
1:26:03	ですか。
1:26:07	日本瀨川です或いはフジワラさんのご指摘は、5ページ目なんかも、
1:26:13	健全性説明書から、
1:26:15	強度に関する説明書にダイレクトに矢印が飛んでいないというご指摘でした。関係性飛ばし合いがないのかというご指摘でして、赤坂です。ごめんなさい。何で書かなきゃいけないのかっていうのがいまち私からわからないから聞いて、
1:26:31	いてですね。
1:26:33	強度に関する説明書2。
1:26:36	健全性説明書持たせるとした。
1:26:41	ものに耐える設計とするとかっていうことを書く。
1:26:46	んですか。
1:26:48	書いてるんですか。
1:26:53	電源で言う瀨川です。そうですね健全性説明書下まではですね、構造強度に関する部分は直接健全性説明書では使わなくて、
1:27:04	層厚の圧力に対して、
1:27:06	入ることという方針を述べてるんですけども、じゃあ具体的にどう頼るんだというふうな場で示しますよと、そんな整理をしてございました。
1:27:18	古作です。
1:27:19	わかりましただから健全性説明書から強度に矢印が向く。
1:27:25	線があるってことですね。

1:27:29	その通りでございます。
1:27:33	私がこの図を見て思っていたのは、
1:27:37	建設名称でわあ、
1:27:41	それが数2 最高使用圧力、最高使用温度を
1:27:49	その想定よりも超える状態に設定することで強度を確保する以上みたいになっていて、単純にそれーで圧力でもつのは共同計算で淡々とやってると。
1:28:01	いう古藤。
1:28:02	なのかと思ってたんですけどそれを丁寧にちゃんと健全性説明書にも書きますと、なので矢印も引きますと、
1:28:10	ということと理解をしました。
1:28:14	すいません。どうぞ。
1:28:21	規制庁の藤原です。あと、確認なんですけど、
1:28:24	第2章、個別項目からは、
1:28:28	の代替換気設備とか、代替安全冷却系っていうのからは、フィックの点線で、
1:28:35	直接健全性に
1:28:39	もとの説明書に1回変えるのではなくて、直接行く
1:28:49	はい、日本の植野瀬川です。の訳としてはそうしようとなっていたところです。
1:28:59	うん。
1:29:00	そうしようと思っていたと言ったところですねはい。
1:29:05	すいません。なくて、ちょっと系統構成とかの話って1回説明書にはい。
1:29:14	はい。系統構成を1回設定事項の手続きに入ります。大体1換気設備から重大事故のその健全性説明書に入るのは、36条で言ってる
1:29:26	うん。
1:29:27	多様性とかいろんなその他の条件のやつをここにね、
1:29:31	つなげたいって話。
1:29:35	多分、議論がその説明を、個別の説明書で本当にしなくていいのかって、

1:29:41	その理由は何か、その言ってるリスクが何かっていうと、重大事故 36 条の基本設計方針の見解所はそれぞれの説明で、36 条の展開の話をするんだとすると、
1:29:54	同じように 1 回受けるんじゃないのっていう話もあるんじゃないかな、これも今、藤原さんが言われてるんじゃないかなと思いました。
1:30:02	はい。日本原燃の瀬川ですちょっと冊子をこういう整理をしたまま、
1:30:07	裏の方がいいというのをちょっと述べさせていただきますと、
1:30:11	共通項目のところの 4.3 と 9.2 の方針ですね。
1:30:18	これは 6 矢印に示す通りですね事故の説明書と健全性説明書 2、
1:30:25	共通的な方針ってのが展開される。
1:30:27	利用するわけシナリオベース系統設計者は、
1:30:31	事故条文、36 条関係の設計方針みたいなのは、健全性に預けるような整理をしていたので、
1:30:39	G o にですねそれは二つの要求を受けた個別項目の 2 章の、
1:30:45	233 とかに対してもですね、経営統合のシナリオ者というのは、事故事項の説明書
1:30:53	36 に関する方針ってのは健全性というような
1:30:58	何住み分けコサクですといったところでした。
1:31:01	瀬川さんすいません、古作ですけど、気持ちはわかったんですけど、一方
1:31:10	許可のときの審査ってそんな綺麗に分かれてました。
1:31:14	いうところだと思うんです。
1:31:17	位置的分散なりなんなり、わあ、ここで言う 36 条の対応ってことになるんですけど、それを踏まえた系統設計になって、
1:31:29	いたと思ってまして、相互に密接に関係してるんですよ。で、そういうのをどうしましょうかといったところを大分議論したと思ってまして、
1:31:43	第 2 章のところと言うとそれを
1:31:47	ある程度合体させた形で説明して、
1:31:51	いるのじゃないかなと思うと、そんな綺麗 2 添付書類に分けて引っ張れますかねと。
1:31:59	いうのが心配で、
1:32:03	00 別紙 4 で議論が必要かなっていうふうになっているんです。

1:32:09	その辺りも踏まえて、整理ができますということに今なってるんですか。
1:32:19	はい。日本原燃の瀬川です。
1:32:21	いわゆるコサクさんが指摘された冒頭ですねその系統を作るときに、多様性位置的分散なんていうものをきちんと考慮して系統がラインナップされるっていうのは全くもってその通りでして、
1:32:36	綺麗に仕分けできる。
1:32:38	というところちょっと
1:32:41	文章ねじれだ形で仕分けをしようと思えば綺麗に押し上げてきたんですけども、
1:32:48	そこの相互関係がないわけではないのでそういったところまで踏まえると、果たして本当にこの整理でいいのかってのはちょっと、
1:32:56	見てもらってちょっと考えなきゃいけないかなと。
1:32:59	はい。はい。補足です。次段階のヒアリングで、そういったところを話をしたいなと思ってまして、
1:33:13	石原さんが言われたようなところで言うと、そういう悩みがあるんだったらまず1回個別脳説明書に入れ込んだ上で、
1:33:24	詳細っていうところは、健全性説明書なり何なりにゆだねると。
1:33:29	いう。
1:33:31	形もあるんじゃないかと。
1:33:34	いうのじゃないかなと思うんですよ。
1:33:37	そこも
1:33:39	どの程度は兄弟。
1:33:41	行けるかっていうところがあるので具体でまた話ができればいいかなと思います。
1:33:53	日本での吉浦でございます承知いたしました。
1:33:57	稟議終了。
1:33:58	そういう意味で、
1:34:00	忙しい聖書メーカーと言いつらいと。
1:34:04	常に会の申請書を作るときに、別紙4をどう使うかっていう中でいっぱい議論して、
1:34:11	金設計方針と並べての相関関係とか役割分担が、それでいいかどうか。
1:34:19	てくる。

1:34:20	ここで言う6-1-1とか、上地の1-4-2とかいろんな関係性も全部横に並べていって、どこでどういう役割分担で書くことが多分正解なんだろうということ、
1:34:33	それを改定後代表ぐらいか何かにしていろいろして整理していったんですよ、最初にもそういうことをしないと、資料の世界が整理しきれないんじゃないかな。
1:34:47	はい。
1:34:48	違います。
1:34:49	はい、ありがとうございます。
1:34:52	作らずにしっかりやりたいと思います。下がってるつもりはなかったんですけど、もっと努力します。
1:34:59	古作です。石原さんありがとうございます今5段票云々って言われましたけど、
1:35:06	そうですねTVの方でもやってたと思うんですけど、
1:35:11	この部分は、強度に飛ばします。ここの部分は耐震に飛ばしますみたいなのを、何ていうんすかね。関連する場所を対したいというか、横に並べるような状態で、
1:35:25	こういうふうに流れていくんですねというようなことは確かに、
1:35:29	あったかと思しますので、それを見て、
1:35:33	また展開をしていただければと思います。
1:35:36	と言いつつ、その作業をしてるとヒアリングがいつになるのみたいな。
1:35:41	こともあると思うので、どういうふうに進めるのかっていうのはまた考えないとなと思いますが、
1:35:51	即答は無理ですかね。
1:35:54	どうなのでしょう。
1:35:58	日本原燃の菅ですそうですね。ちょっと記述的なところを即答するのはちょっと、
1:36:05	辛いところが実際に作業見積もりしっかりして、
1:36:10	中途半端なもの出さないようにしなきゃいけないと思ってますので、見積もりをちょっとさせていただいた上で、
1:36:16	くらいあんまりゆっくりもしてられないので、
1:36:19	急いで対応したいと思います。
1:36:21	古作です。今の瀬川さんの回答だと、

1:36:25	第1回の
1:36:27	良くなかった原燃の対応をトレースしてそんな感じがしたので申し上げますと、
1:36:34	今日のヒアリングの最初の話にもあったように、綺麗なものにしてからじゃないとヒアリングができないということではなくてですね。
1:36:43	それはそれでやるんですけどその前に、考え方とか方針っていうところで、ある程度認識を合わせて進めると。
1:36:53	ということもあるので、
1:36:55	どういうふうに進められるか、作業として確実なものになるかどうかというところからいうと今回のものもその作業方針クリアになってると思えない。
1:37:07	それをどう進めるのかっていうことをまず考えてもらった方がいいような気がします。
1:37:16	はい。日本原燃の瀬川です。
1:37:23	情報として足りないんですけど、一応これ、
1:37:25	十時17、ここの相関整理みたいなところを、トリガーにしてですね。
1:37:31	作業の見直しにつなげたいなという思いはあるんですが、ちょっとこれだけでやっぱり不十分だということを認識しましたので、
1:37:39	1%で、やりすぎるとまた後戻りが大きくて、
1:37:44	ちょっと説明がなく、その分、
1:37:47	できるようなちょっと工夫はさせていただきます。そういったことを早く作ってですね、
1:37:52	もう、
1:37:57	気にいただければと思っております。以上です。
1:38:01	古作です。石原さんが言われた第1回の経験、
1:38:08	をまず見ていただいて、こんなイメージの作業をしてヒアリングを進めたいと。
1:38:17	いうことをまず言ってください。
1:38:21	それで、認識があった上で作業を進めるようにお願いします。
1:38:27	はい。日本原燃の瀬川です承知いたしましたそういった認識のご提案と いうかご報告はそんなに時間かけるものではないと思いますので、
1:38:37	今日、

1:38:39	ちょっとイシハラと相談してですね、明日にはこんな形でいきたいというようにところを提示できるようにしたいと思います。以上です。
1:38:53	はい、古作ですよろしくお願いします。
1:38:56	そのところで、
1:38:59	ちょっと細かな、
1:39:01	コメントで、恐縮ですが、
1:39:04	強度関係で、県、根拠説明なり、健全性説明というところがあって、内部流体のということ等、それで環境とっていうので、
1:39:19	仕分けすると、いうことは前回もお話いただき、今回もそれが見えるようになっていて、
1:39:27	大分認識は共有できたかなとは思うのですが、
1:39:31	そのときに、内部流体のと言っておきながら表題が環境条件等っていうのはこれは、現状こうだから書いてあるだけで見直されるっていうことでいいんですかね。
1:39:45	はい。日本原燃の瀬川です。
1:39:47	はい。
1:39:49	ご指摘受けるまで出しておりませんでした。しっかりこの辺りの表現統一図っていききたいと思います。以上です。
1:39:59	はい。コサクです。これは前回行ったはずなんですけど。はい。よろしくお願いします。
1:40:09	規制庁の藤原です。あと、これちょっと細かい話なんですけど、今回冒頭の方でタカナシとやりとりがあった、衛藤図の作り方というか、
1:40:19	示し方なんですけど今回は、今回のお話する内容に合わせて少し矢印とか省いちゃいましたみたいな話があるんですけど、それだったらそれをわかるようにはしていただきたいなと思っていて、
1:40:31	実際何か健全性から飛ばすところなんかは一式消されちゃってて、どうだったのっていうふうにも一緒になるんですよ。
1:40:39	であれば、それは、冒頭で説明されるか、何か矢印でここでちょっと展開するには、場所が狭いのであれば、1個矢印つけて、米なんかを見て、違うところもちょっと後で、次のページで展開しますってのがわかるようにして、
1:40:54	という結構

1:40:56	こちらから一応突っ込んだな、いやこれはこういう意図だったんですけど、であれば先に説明の中で、こういったところ、今回ちょっとはしょってますよ僕らちゃんとわかってますっていうのを示していただきたいかなと思いますが、いかがですか。
1:41:12	はい。日本原燃の諏訪でございます。申し訳ございません。
1:41:16	ちょっと読み手にやさしい資料になってない。
1:41:19	事実でございますし、しっかりちょっと今後ですね。
1:41:23	何を目的としているものなんだ、何の情報を省いてるんだというようなところをきちんと目的に応じて説明を加えるようにしたいと思います。構想とかぶっちゃいましたが、以上でございます。
1:41:34	規制庁の藤村ですよろしくお願ひします。そして
1:41:38	系統構造図のところも、添付書類だと思っていて、数字があると思うんですよ、タイトル。なのでそういったところも矢印を見ていけば、
1:41:49	添付店舗の繋がりにていうので、店舗のところを示しているんだろうなと思ってるんですけど、ぱっと見たときに、何者かなっていうふうになっちゃうので、そういったところも少し、
1:41:58	考慮してくださいよろしくお願ひします。
1:42:03	はい、承知いたしました。
1:42:05	あ、すみませんきちとお話ですけれども、今藤原が言ったコメントに含まれるとは思いますが、目のため言っておくと、
1:42:16	右の方のその健全性を説明書にその伸びる矢印としては3-2の水素爆発等蒸発乾固が伸びているんですけど、
1:42:26	一方都産の大庭辻さんの酸素のTBPも文字で見ることには本当にはなってると思うんですけど、それは数えてるということなのかもしれないんですけど、一応その点はちょっと、
1:42:37	わかるようにちょっと工夫して、同じ四角をまた書く必要はないような気がするんですけど、ちょっと追記してもらってもいいかなと思ってます。
1:42:45	あと、
1:42:46	これ
1:42:48	これのための形態ですけれども、
1:42:53	6-1-1-2の蒸発乾固から下に伸びる、また、抜きの矢印。

1:43:02	が、三本茶色で右の方に伸びてますけれども、右の例えばその系統情報って入ってて、一番左の矢印は系統情報って特に書いてないんですけども、系統情報という理解。
1:43:18	はい。宮路瀬川です。系統情報ですちょ、あ、すみませんでした。そしたら、区分け、わかるようにしてもらえればと思います。はい。
1:43:32	はい。規制庁タカハシその他何かございますでしょうか。
1:43:41	規制庁高橋です。1点ちょっと細かい話これも細かいで恐縮なんですけれども、
1:43:46	6ページ以降のところでなんだけど、説明書のこんなことを書きますよ的な例示をされてるかと思えますけどこれ凡例のところ、青字説明内容ってのは、梶井はこれどういうことなんでしょうか。
1:44:03	日本原燃の瀬川です。すいません。ちょっとこれも中途半端でした。
1:44:08	あれ、こういった情報をここに出していきたいというそういう強い思いを赤字にしてたんですけども、
1:44:16	そういう思いがちゃんと判例で表現しきれてなかったです。以上です。
1:44:23	規制庁の笠間それはその上でまた資料モリファイするときでも
1:44:29	残りこの形が残るようであればそういうことは、記載していただければと思います。
1:44:39	規制庁タカマツその他何かございますでしょうか。
1:44:53	規制庁の橋村です。今回その参考資料でつけられてますけど
1:44:58	ヒアリング
1:45:00	どう示していくかとかどう整理していくかっていうのは検討されてこない。
1:45:08	はい。日本原燃の世良です藤原さんのご認識の通りです。まず今の
1:45:14	26日に申請した申請書の繋がりというのを示しておりますが、これは必ずしもこの繋がりかせえというわけではございませんので、
1:45:22	うん。まずきちんとですね、
1:45:26	規制見直し固めてからですね、改めてお示ししたいなというふうに思っております。以上です。
1:45:33	規制庁の日暮とやっぱ明日少しお話聞ける。
1:45:37	思っている、どういうふうな作業も、
1:45:40	方針というか、そういったところに

1:45:53	日本の姿勢がですねいずれにしてもちょっとステージしようとしている見直し方針。
1:45:59	それを紐付けてっていう、これでいくとまたフットワーク重くなってしまう。紐づけてというわけではなくてむしろその対応方針によってこんなのを受けたって貼り付け
1:46:10	っていうところもあって、ここって、
1:46:13	来ちゃうから、もう
1:46:15	あんまり、次の時にはこんなのがベターって入って、
1:46:18	ないんだよね。
1:46:20	失礼しました。はい。つけません。以上です。
1:46:24	コサクですけど、言い換えると、
1:46:29	こういうこの内容はすべて 00 別紙 4 になっちゃうよねっていうことなんですよ。
1:46:35	さらに添付をべたべたとなっていましたけど、先ほどの石原さんが言われたように、横に並べるものもあるよねと。
1:46:46	ということだしてっていうのます。
1:46:48	その方針でまず明日聞いた上で、作業を明確にして、
1:46:53	3、瀬川さんが言われたちゃんとした資料にしていく。
1:46:57	ということだと思います。それも、一気にやるのではなくて、具体サンプルで、この部分でやって、その方針でいいかどうかというのを改めて、
1:47:09	確認した上で、全体に展開するっていうプロセスを踏んだ方がいいような気もするので、そこも含め、明日相談をしてください。
1:47:20	はい。日本原燃の瀬川です承知いたしました。
1:47:27	はい、規制庁タカマツその他何かございますでしょうか。
1:47:37	はい。
1:47:39	はい。
1:47:40	ごめんなさい。ちょっと日本原燃の瀬川です。日本原燃の瀬川ですけども、
1:47:45	ですね。
1:47:47	今後整理していくにあたって、ちょっと認識じゃないですけど、ご意見を伺いたいところが 1 点ございまして、
1:47:56	6 ページをちょっとご覧になっていただき、
1:48:01	たいと思います。

1:48:05	6 ページのですね、左下のところ、赤字で太字、太字で個数容量、
1:48:11	いうキーワードを書いております。
1:48:14	これ前々回のヒアリングでコサクさんからですね、個数容量を健全性説明書に預けるとは何事だと。
1:48:26	いうご指摘を受けております。
1:48:29	それちょっと悩んでしまっていて、これをちょっとどこに預けるべきか、個数いろいろですので、
1:48:39	設定根拠説明書、ここの報酬を受けるっていうのが最も筋であろうと思いつつもですね。
1:48:47	設定根拠説明書の立て付けがああいう表形式のもので、何かこう、
1:48:53	更新を受ける。
1:48:55	例えばパレスの必要数量の方針が記載があったとしたときに、
1:49:02	その方針を全ホースの設定根拠説明書に書くのかって、そんなばかな話もないですし、そういったところですねこのソスウ要領の方針をですね、どこで預かろうかというのでちょっと、
1:49:15	行き詰まってしまっていてですね。
1:49:18	うん。
1:49:20	ちょっと中の、
1:49:22	ご指摘があれば、
1:49:24	コサクです。瀬川さんが何を悩まれてるのか自体私はちょっと理解し切れないですけど、
1:49:30	36 条の基本設計方針をどこで受けますかと。
1:49:36	いうことを言われているわけじゃないですよ。
1:49:41	はい。尾上先生が、36 条の基本設計方針は、
1:49:46	健全性説明書で受けるものと思っています。
1:49:51	規制庁コサクですけど、それはそれでよくて、
1:49:56	それを展開した、
1:50:00	この
1:50:02	個別設備の個数要領の説明っていうのは、
1:50:08	何で設定根拠だけでクローズできないのかっていうのがよくわからない。
1:50:13	です。
1:50:17	健全性説明書 D、36 条を受けたところで、結局具体を説明し、

1:50:24	しないので、尻切れとんぼんなっちゃって困ってるということだとしたら、設定根拠で説明しますと馬車いだけ。
1:50:34	だと思うんですけど。
1:50:36	何が抜けちゃうんですかね。
1:50:41	はい。日本原燃瀬川です抜けるわけではないいいと思ってます。
1:50:48	えーとですね。
1:50:50	凝縮機の、
1:50:53	恐縮 t。
1:50:57	共通的な設計方針なんですが必要な発生する蒸気をきちんと状況できるだけの面を有する設計とするっていうような、そういう設計方針が、
1:51:08	事象の個別項目で述べられるんですね。その更新を添付書類として具体化していくときに、
1:51:16	これを直接設定根拠説明書側で受けるとですね、凝縮器の設定根拠説明書というのが建屋分、
1:51:26	古い建屋に出てくるんですけども、その後建屋分の
1:51:30	凝縮機にですね、同じように同じ方針を書くっていうのが非常にわずらわしい。
1:51:36	いせえびになるなど、同じことを繰り返し説明してしまって面倒くさいなど。
1:51:41	というようなところでちょっと悩んでたところです。
1:51:47	規制庁コサクですけどそれわあ、
1:51:51	しょうがないというか、
1:51:54	何なんだろうなと思いますけど、
1:51:58	評価方法なり何なりであれば別紙でまとめて、合理的にやったらどうだったの前お話ししましたけど、
1:52:06	そういったところの工夫の範疇なんじゃないのって気はしますけど。
1:52:15	いずれにしても、先ほどお話しした別紙4なり、その具体にどう話をしていくかというところで、
1:52:25	話を敷いたらいいことじゃないかなというふうに思います。
1:52:32	はい、梅野志賀承知いたしましたまず1回しっかり整理させていただきます。
1:52:46	あ、ごめんなさい、規制庁タカマツその他何かございますでしょうか。

1:52:56	はい。規制庁高橋です。よろしければ、原燃側の方から振り返りとスケジュール修正等の見直しスケジュールですね、を少しご説明いただけますでしょうか。
1:53:12	はい。日本原燃の堀口ですた振り返りを聞きます。
1:53:16	す。冒頭のところで十時 17 のところでマスキングの話がありました、マスキングの整理に関しての議論をして今後別途説明をいたします。
1:53:26	続けて、
1:53:29	矢印の話ですけれども、もう、
1:53:34	9 と 5 ページのところで、2、第 2 章個別項目の 2.2. 1 のところからの矢印のところホに他にもいろいろ、
1:53:45	なんですけども、矢印が、
1:53:48	出たり意図的に外してる部分に関しては、
1:53:52	最初冒頭なり途中なり、注記だりってということで、5 ページの矢印ってのは何を示しているか、飛んであえて消してるものは何かっていう矢印に対する説明を追加します。
1:54:07	ウワー、耐震だと DB と SA で分けずにやっているってということで今回のこの S3SA との健全性の部分に関しては、DB 訂正で、
1:54:17	ているというところに関して、
1:54:20	どうしてかっていうところを確認をいたします。
1:54:26	あとは、
1:54:28	健全性から事故の上の添付書類のところの矢印が今は事故から、健全性に飛んでるところですけど矢印の向きに関して見直しを行います。
1:54:41	また強度のところに関して健全性のところ p6-1-1-4-2 から 5 の方に飛ばす矢印が抜けているといったところで、矢印の追加をいたします。
1:55:01	あと、憲法がどういった役割を担うかっていうことで奥里のご覧表を作って役割を明確にしてるっていうことを、に関して今後どういったふうなやり方で、
1:55:12	その一つの機器一つの条文に対する設備がどういう役割を持ってどこに確認飛ぶかってところの考え方を、
1:55:22	整理してそれに関しては今後どうやっていくかっていうスケジュールの見積もりだとか、どうやっていくかということ。明日、
1:55:30	今日石原さんと話をしながら、明日説明をいたします。

1:55:35	あと細かい表現の直しのところで今日環境条件等の直であったり、
1:55:40	他にも表現として足りてないところの見直しを行います。
1:55:45	赤字の凡例部分だとかですね。
1:55:49	はい。
1:55:51	簡単ですけど、以上になります。
1:55:56	1点ですけども、認識されてると思うんですけども、健全性説明書と根拠提携説明書のその両方の矢印の、その辺もちょっと整理していただければと思いますので、
1:56:11	わかりました。
1:56:18	規制庁高橋です。
1:56:20	なんですけど、スケジュール的なところっていうのは、
1:56:23	あれですね少し検討してるってことなんですか。
1:56:28	その辺、瀬川です。いずれにしても明日、これらを踏まえて、
1:56:34	フランスとかっていうのはそのあとかなと思っておりますので、進め方をまず1回しっかり明日提示させていただいて、その中でこれも含めた今後の、
1:56:45	タイムスケジュールみたいなところをご説明できればと思います。以上です。
1:56:50	古作です。先ほどお話したのは別紙、00別紙4なんですけど、
1:56:56	別紙1ってどうなんですか。
1:57:01	日本語の臼田です。今作業を進めているところでして、
1:57:06	週の月曜日に、蒸発乾固水素、
1:57:12	水供給、
1:57:14	についてですね、主に別紙1の方ですと本文はこのお貸し込みが主だったところになりますけれども、
1:57:23	反映したものをですね来週月曜日に提出しようと考えてございました。以上です。
1:57:31	施設の条例です。十時は特に修正出てこない。
1:57:39	日本エム・ディ・エム瀬川でございますたくさん
1:57:44	社会的なところの、
1:57:46	落ちてキーが主であったというふうに認識しておりますので、そちらのちょっと提出スケジュールについてまた改めて、提示させていただければと考えてました。以上です。

1:57:58	規制庁コサクです。
1:58:01	資料の見直しをしっかりとやらしてもらえれば良いとは思いますが、
1:58:07	内容のヒアリングをいつやるんだっていうのをちゃんと頭、整理しておかないと。
1:58:14	この間は酒匂だ形でしか指摘してなくてそれで終わりかっていう、
1:58:19	疑念が私にはあってですね。
1:58:23	そこもちょっと認識を共有していくようにお願いします。
1:58:29	はい。日本原燃の瀬川で紹介いたしました。
1:58:35	コサクです皿 2、別紙 23。
1:58:40	5、
1:58:42	があるんですけど、
1:58:45	そこはどう考えてるんですか。
1:58:48	はい。日本原燃の清野ですこちらもご指摘いただいたところ問題点、認知しております、
1:58:56	上の更新作業を進めていたところでございます。具体的には、
1:59:01	アクセスルートという大事なキーワードが、
1:59:04	何か抜けたりは抜けてるようなところがあったり、
1:59:07	十字屋の補足説明資料ですね。
1:59:11	今回の構造説明とかそういった観点の説明の拡充を図っていかないと認識しております、そういった情報がまだ全然反映できてませんのでこれも順次今反映しているところでございます。以上です。
1:59:25	古作です。たび重なる指摘であれですけど、その作業は、こちらと認識が合った作業になっているのでしょうか。
1:59:42	古作です。なってるわけがないと思いますので、それを確実にするためのプロセスを考えて、これも明日説明してください。
1:59:54	日本エム・ディ・エム瀬川です。承知いたしました。
2:00:05	規制庁の藤原です。共通とこの中で話がいろいろと出てきたと思うんですけど、十時 18 でしたっけ。だって 2 月 8 日に提出っていうので決め方とか聞いてたんですけど、絶対的な関係でどうされます。
2:00:23	日本語にすればです本日ヒアリングの冒頭あった通りですねし、
2:00:29	椅子土肥水飯田とかの構造説明。
2:00:34	で、ドラフトというか、

2:00:37	提示させていただくということを申し上げました。それとあわせてですねSMと一緒に同じタイミングで一度ですね方向性、変な方向向かってないかといったところを、
2:00:48	ご説明したいので、かつ、まずドラフトの形で1回出させていただければなと思ってました。以上です。
2:00:56	室長の藤村です。わかりました。
2:01:02	はい。規制庁高橋です。その他、何かございますでしょうか。規制庁が原燃がどちらでも構いませんけれども、
2:01:11	カミデですけど、
2:01:15	今日のヒアリングで明日話をしましょうっていうのが結構できて、明日は耐震のヒアリングD90から12時っていうに時間があるんですけど、
2:01:26	原燃、
2:01:28	案件、
2:01:30	どれだけあって、どれぐらい時間欲しいとかってあります。
2:01:36	追加になるんですね。
2:01:42	はい。2本ぐらいの人があるし、
2:01:45	富士通京都の実績踏まえるとまず類型分類がですね。
2:01:50	それを十分に20分で終わるといふうには何か覚えがない。
2:01:54	ですし、
2:01:55	一方でこのSAの進め方といった部分も、
2:02:01	なるとですね、その二つだけで、1時間ぐらいは食ってしまうかなというふうに思っ
2:02:07	ています。
2:02:08	以上です。
2:02:11	はい。規制庁鏡です。案件二つだけです。
2:02:20	日本原燃の瀬川です。案件二つかといったらそうではないですね。構造説明のドラフ等、
2:02:26	やらせていただきますので、
2:02:30	まさにそっちの方もっと時間を、
2:02:33	すいませんコサクです。明日のヒアリングでって言ったのはそんな詰めきるようなところまでやれるはずがないと思ってて、
2:02:43	私はそれぞれ5分程度なり10分程度なりというので、
2:02:48	サラサラっと状況認識を、

2:02:51	共有して、
2:02:54	その金曜午後の作業なり、翌週、どうしていくのかと。
2:03:00	ということが、認識が合えばいいのかなと思っていました。でないと、今上出が言ったように、
2:03:08	耐震でもともとやろうとしていたヒアリングができなくなっちゃうんで、
2:03:13	もしそうではなくてもっと何か話ができるっていうんであれば別にまたヒアリングをセットする必要があるかな。
2:03:21	ます。
2:03:26	そういう意味で 40 分。
2:03:29	これを示していただいたという、
2:03:31	そん中で方向性を確認できる。
2:03:36	見せていただきたい。
2:03:37	国際においてみたいに何か物を出して、梅干体感したいっていうレベルでは、残念ながら、
2:03:44	あまり到達すべてのしないような気もしますので、こうやってやっていこうと思ってますっていうことを確認させていただき、
2:03:52	ということで、短時間でインフレ終わらせない
2:03:56	以上です。
2:03:59	カミデです。40分にしようかなっていう話もして、中でして、そちらとも事務的に調整はしてるんだと思いますけど。
2:04:09	まだF I Xっていう感じでもないし、
2:04:13	サラサラってっていう意味だと大戸 30 分間 10 時からやって 30 分ぐらいっていうのもあると思うんで、もうちょっとどちらにしても
2:04:23	耐震やる前、前半、ヒアリングの前半に話を入れようと思いますんで、あとは事務的に調整します。
2:04:38	はい規制庁タカハシですその他何かございますでしょうか。
2:04:51	はい冬季規制庁タカハシです。特にないようでしたら、
2:04:58	本日のヒアリングは、
2:05:00	ここまでとしたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。
2:05:10	作田常務。はい。去年が結構でございます。
2:05:14	はい規制庁タカハシです。それでは本日のヒアリングはこれで終了します。録音停止してください。

